

取組事例

(所定外労働削減・年休取得促進・多様な正社員・朝型の働き方・テレワーク)

事業場名：万協製薬株式会社	業種：製造業
所在地：三重県多気郡多気町	労働者数：122名（企業全体 122名）

取組の目的：

「どうすれば社員が会社の仕事に楽しく取り組めるか」のため弊社ではさまざまな取組みや制度の充実をはかっている。

取組の概要：

【現在の取組】

○トップのメッセージ

「社員が会社の仕事を楽しく取り組める」ためには「仕事」と「休み」がバランスよく取れることが必要であることから、従業員がやりがいを持って働きつづけられるよう、ワーク・ライフ・バランスの制度等を充実させている。

○所定外労働時間の削減

- ・毎月一度課長以上参加の会議にて各人の所定外労働時間を確認して原因を話し合い、今後に生かすようにしている。
- ・各部署で独自の所定外労働時間削減の数値目標を設定し、さまざまな業務改善等の取組みで削減を目指している。年に一度の全社でおこなう成果発表会において、目標に対する結果と、そこから得られた内容を発表することで、他部署も情報を共有し、気づきを得られる。

○年次有給休暇取得推進

- ・プチコミファミリー制度で年に一度それぞれの班で旅行（海外・国内）を実施。その際に計画有給を取得するように推進している。
（プチコミファミリー制度・・・勤続年数や所属部署に関係なく4-5名で班を構成。1つの家族のようということからこの名称をつけた。現在は従業員が増えたため1班7-8名で構成。仕事からプライベートまでいろいろな話ができるようにしている。）

- ・時間単位有給休暇制度を導入。(2015年度より)

これまでは1日単位、半日単位のみであったが、より柔軟に有給休暇が取得できることが狙い。従業員からの意見で導入に至った。

○ワーク・ライフ・バランスコンサルタント養成講座受講

社内各部署より数名が参加。社内と社外（弊社は社外での経営コンサルタント業務を行っているため）向けてワーク・ライフ・バランス活動を推進することが目的。

【取り込みの結果】

所定外労働時間 2015年度平均 32時間

(2014年 32時間、2013年 34時間)

時間としては大きな動きはないが、生産、売上が伸びている中で現状を維持しており、業務改善がはかられているとみている。

有給休暇取得率 年次有給休暇の取得率は平均 70%

年次有給休暇以外のリフレッシュ休暇、誕生日休暇などもあり、それらの特別休暇の取得も含めると 79%と高く、有給休暇の取りやすい風土ができています。

【今後の取組】※これまでの取組み以外で

○在宅勤務

昨年、育児休業者を対象に、在宅勤務を試験的に行った。

持ち帰ることのできる業務の選択や評価方法について課題がみつかった。今後は育児世代だけでなく、介護世代も増えてくることから働き方のひとつとして定着させたい。

○副業のすすめ

多様な働き方をすすめていくなかで、自社だけでなく、他の場所でも自分を生かすために働きたいという人がいれば会社は副業を認める。副業をすることでより効率を考えて働くことができるようになり、個人の成長につながると考えている。